

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合って 話し合って とともに学ぼう !

# ながさかっこ



ながさかしょうがっこう 長坂小学校だよりNo.9 2023年11月発行 発行責任者：校長 國分 孝明

裏面は10月後半から11月にかけて学校で行っている行事や取り組みを紹介しています。

## 家庭教育学級やっています (保護者)

家庭教育学級という取り組みはご存じでしょうか。長坂小学校では「いちごの会」という名称で10年以上前から活動しています。長坂小学校の保護者(OBを含む)で構成され、自分たちで取り組みたいことを計画して1年を単位として活動しています。活動の内容は、エコを意識したクッキングや日常のちょっとした場面を便利にする小物を作ったりと様々です。また、社会見学として今年は蟻通神社の周辺の散策、昨年はいちご狩りに出かけました。活動を通じて様々なことを学んだり、新しい発見をしたりと楽しい会ですが、これ以外にも子育てのことを話す場面もあります。同じ小学校の保護者どうし共感しながら楽しい時間を過ごしています。



11月21日(火)は、手芸に取り組みました。表地と裏地の布を縫い合わせて小物入れと巾着を作成しました。材料は100円ショップ等でそろえ、約1時間30分ほどでおしゃれな雑貨が完成していました。完成後は、コーヒーを飲みながら作ったものについて話したり、次回の予定の詳細を決めたりと、楽しいひと時を満喫していました。

年度途中からの参加も OK です。興味がある方は学校まで「家庭教育学級のことで」とご連絡ください。

## 避難訓練 (全学年)

10月25日(水)に避難訓練を行いました。今回は火災を想定し、運動場に全員避難しました。1学期に行ったときより短い時間となる3分以内の全員避難が完了しました。その後、泉佐野消防署上瓦屋出張所の消防隊員の方から避難訓練についてお話を消火器の使い方についての説明を聞きました。消火器は、10秒間しか出ないことを聞くと、子どもたちは驚いた様子でした。

最後には、消防車を見学させていただき、どんな装備があるのかなど、子どもたちは消防隊員の方にたくさんの質問をしていました。

もし火災が起こった時、自分たちはどのような行動をとる必要があるのかを普段から意識することが大切です。この訓練が命を救う事につながっていることを全員で確認しました。

## 防災教室 (避難所設営体験) (5年生)

11月2日(木)に、東日本大震災で被災した経験のある、防災アドバイザー防災教育コーディネーターの吉田亮一さんに来ていただき、4, 5, 6年生で「防災教室」を行いました。より実践的な災害への備えについて学んでもらおうと、東日本大震災の経験と避難のポイントについての講話や避難所の運営の仕方の再現を通して、子どもたちは自分で自分の身を守る方法を学びました。

講演では、身の回りに危険な場所がないかを振り返り、地震が起こった時の行動を考えました。通学路で地震が起こった時、ランドセルを開けて、そのフラップで頭を守り、体を小さく丸めることで、背中など体全体を守ることができることなどを学びました。



講演の後、体育館と運動場を使って避難所の設営を体験しました。子どもたちは、避難者を受け入れる側になり、「設営」「受付」「情報」「衛生」「総務」「炊き出し」「避難誘導」のグループに分かれて行動しました。体育館内の避難所の開設やアルファ化米の提供などを体験しました。5, 6年生の子どもたちが、避難者役の4年生を案内し、グループとしての活動を自分たちなりに考えて行動している様子が見られました。真剣に活動に打ち込む5, 6年生の姿があり、子どもたちからは、「普段から防災の準備をしていると、災害から身を守ることができる。」や「避難訓練を真剣にしていきたい。」と振り返りがありました。



←プールの水をトイレ前まで運んでいます。(トイレ使用後のため)

体育館の中をブルーシートで区切って、避難スペースと通路をつくっています。 →

